

夏休みの
工作は
これで
バッチリ☆

エレクトロニクス講座

主催: わくわくエレキ講座の会
後援: 美濃市教育委員会
岐阜中部西こども劇場
岐阜大学教育学部・
物理学教室

会場: 美濃市文化会館

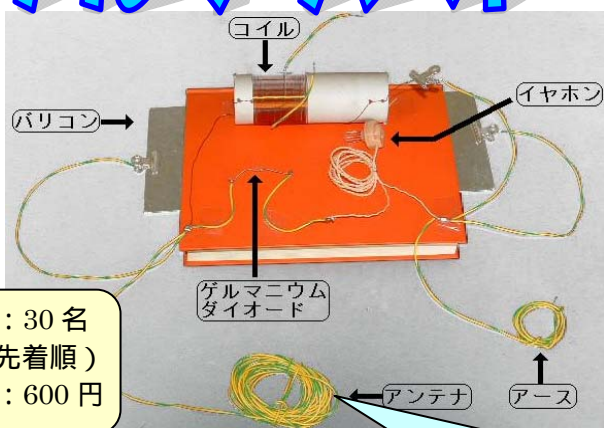
「エレキ講座」は子どもゆめ基金助成金(独立行政法人・国立青少年教育振興機構)の助成を受けています。

8月8日(金)
9:00~16:00

電池がいらない!
簡単! 手作り!

8月10日(日)
9:00~16:00

ゲルマラジオ



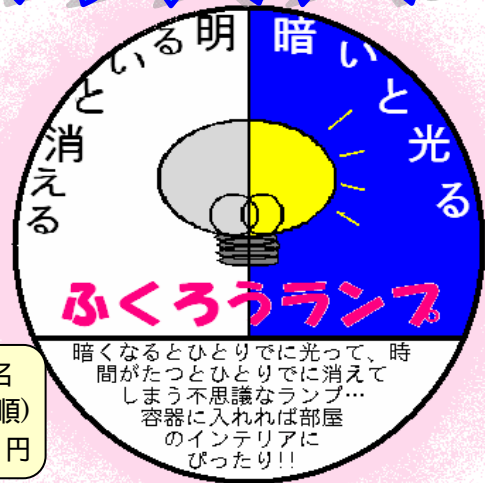
定員: 30名
(先着順)
参加費: 600円

これは見本です。
見かけはよくないけれど、電池がなくても
聞こえるラジオなんだよ♪



ふくろうランプとは暗くなると点灯し、明るくなると消灯する豆ランプで、部屋のインテリアにぴったりです。
明るさを感知する「光センサー」と「トランジスター」というものを使って製作します。
左の写真では、回路がUFOキャッチャーでとった景品の中に入っています。自分の好きなケースに回路を入れて自分だけのふくろうランプを作りましょう。

ふくろうランプ



定員: 30名
(先着順)
参加費: 1100円

暗くなるとひとりでに光って、時間がたつとひとりでに消えてしまう不思議なランプ...
容器に入れれば部屋のインテリアにぴったり!!

申し込み方法 [保護者の方は裏面もお読みください] **締め切り: 6月30日(月)**
受講案内返信: 7月2日(水)

●往復はがき●

<input type="checkbox"/> 返信	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 氏名(ふりがな) 2. 学校名, 学年 3. 電話番号 4. 参加したい講座(両方でも可) 5. 保護者の方は講座当日参加できますか? 6. ふくろうランプに参加する際, 保護者の方は9日(土)に参加できますか? <p><<7. e-mail アドレス(携帯不可)>></p>
--------------------------------	--	--

(郵便番号も忘れずに) **自分の住所、氏名を書いてください。**

送り先: 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
岐阜大学 教育学部 物理学教室 気付
わくわくエレキ講座の会 代表 仲澤 和馬

●電子メール●
左の往復はがきに書き込む内容を電子メールで送って下さい。
注意: 件名に「エレキ講座・氏名」を書いてください。
申し込み先: science_1@phys.ed.gifu-u.ac.jp
注意: 携帯電話のメールでは受け付けません。

※講座当日は、保護者の方が同伴して下さることが大変望ましいです。両日参加可能です。定員まで余裕があれば、中学生も大歓迎です。会場への送り迎えは、保護者の方の責任でお願いいたします。

手づくり工作で触れる初めてのエレクトロニクス回路 (略称:エレキ講座) ご案内

美濃市内で小学生のお子さんをお持ちの保護者の方々に、子ども達のための上記講座をご案内いたします。

近年、子ども達を取りまく環境は、保護者の方々が子どもの頃と比べて多くのものがお金と引き替えに手に入るようになってきました。したがって子ども達は、テレビやマンガ本の広告・店に並ぶ商品などを見て、「これが欲しい、お金ある?」となります。今の子ども達の10年後にあたる現在の大学生にも、アルバイトで稼いで何を買うあれを買う、といった傾向がチラホラ見られます。

携帯電話の出始めの頃は、随分と重く、とても「携帯」には向かなかったものが、現在、100g以下があたりまえです。十数年前には簡単に持ち運べるなど予想できなかったパソコンにしても、ノート型の非常に薄く軽いものが、それなりに廉価で出回っています。このような技術革新をもたらしたのは、保護者の方々と同世代の人々です。その原動力となったのは、便利さを求めてモノを考案する、あるいは作り出す力でした。今、出来上がったものをお金で購入することに目が向いている子ども達に、この力を与えることが必要ではないでしょうか。

子ども達は、30~40年後の社会の主役です。その主役が、出来上がったモノを手に入れることに血眼になるのではなく、自ら創り出すことができるようになって欲しいとの願いから、岐阜中部西子ども劇場の「おやじの会」のメンバーを中心に「わくわくエレキ講座の会」を平成12年10月につくりました。「わくわくエレキ講座の会」は、その名の通り、「エレキ講座」のための「会」です。モノ作りの楽しさを子どもの頃から味わえるように「エレキ講座」を企画し、岐阜中部西子ども劇場会員(小中学生)を対象に、平成13年度に6回の講座を開きました。この経験が評価を得て、「独立行政法人・国立青少年教育振興機構」より子どもゆめ基金として助成金を交付されることになり、今年はこの講座への参加を、美濃市の全小学生に呼びかけることにしました。

この講座では、やすりでエナメルをはがしたり、コードの皮をむいてハンダを付けたりします。小豆程度の大きさのICが、様々なことをやります。キットを購入して、単に組み立てるという講座ではありませんので、出来上りの見栄えは、あまりよくないかもしれません。

また、お子さんが参加するのは当然ですが、この講座では、保護者の方の参加をととても大切だと考えています。つまり、お子さんと一緒に奮闘してもらいたく思っています。手先に自信のないとおっしゃられる保護者の方には、土曜日に来ていただいて練習できるようにします。腕に自信のある保護者の方も、大歓迎です。これで、講座当日、子どもからもより深い信頼を得ることができると思います。またどうしても保護者の方が講座に付き添えない場合には、学生の指導員がつくことも可能ですが、基本的に保護者同伴でお願いいたします。保護者の方に前もって練習していただく日程^[注]は、次の通りです。

8月9日(土) 13時00分 ~ 16時30分

於：美濃市文化会館 2階 会議室

必要となる経費は、お子さんが家に持ち帰るものの実費と障害保険料です。当日お支払い下さい。

このような講座に、是非、お子さんとご一緒に参加しませんか?申し込みはこの裏面をご参照の上、電子メール、または往復はがきでお願いします。募集人数も裏面に記載のとおりで、定員になりしだい締め切らせていただきます。受講の可否や受講者の持物についてのご連絡を、7月2日(水)にこちらから発送いたします。昨年までの講座は、下記ホームページをご覧ください。新聞記事や、ゆめ基金による「エレキ講座」紹介ビデオがご覧になれます。それでは、申し込みをお待ちしております。

連絡先 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学・教育学部・物理学教室 気付

わくわくエレキ講座の会 代表 仲澤 和馬 (教育学部教授)

☎058-293-2245 FAX:058-293-2207 (担当:籠原) e-mail: science_1@phys.ed.gifu-u.ac.jp

ホームページ: <http://www.phys.ed.gifu-u.ac.jp/>

^[注]託児はございませんが、小さいお子さんや講座を受けるお子さんとご一緒でもかまいません。特にふくろうランプの製作は、講座の1日だけでは終了できませんので、ここで前もって3分の1くらい作っていただくこととなります。おこしいただけない場合、講座当日は3分の1くらい作られたものから開始していただきます。指導員の学生においては、7月中旬から8月中旬まで、教員採用試験、定期試験、教員採用二次試験、集中講義などが控えており、その中での参加となりますので、どうぞご理解ください。